

# 麻酔科医って どんな仕事?

今回は、麻酔科医について麻酔科の  
小林先生にお話しをうかがいました。



麻酔科医員  
小林 充

最近では報道番組やテレビドラマ  
などのおかげで(印象の善し悪しは  
別として)麻酔科もようやく世間に  
認知されてきたように思います。た  
だ、手術を受けたことのある方以外  
はお会いする機会は少ないですし、  
実際の仕事内容となると具体的に  
イメージできる方はほとんどいっ  
しゃらないのではないしょうか。

## 1 麻酔科医の仕事

当院の麻酔科の業務は、大きく分  
けて二つあります。一つはその名の通  
り手術中の麻酔で、患者さんが安全  
かつ快適に手術を受けていただけよ  
うに、また執刀する主治医が集中し  
て手術に臨めるようお体の状態を管  
理させて頂きます。これには、手術の  
前に健康状態をチェックし、その病状  
や手術内容から最適な麻酔方法を決  
めるための術前診察と、手術後に経  
過をうかがう術後診察も含まれます。

もう一つはペインクリニックといっ  
て、主に外来で行う痛み(ペイン)に対  
する治療です。もともと痛みといっ  
のは、身体の異常事態(病気や怪我な  
ど)を知らせる重要なサインなので  
が、稀に原因となる病気や怪我が治  
癒しても痛みだけずっと続いてしま  
うことがあります。そのような厄介  
な痛みをできる限り軽減すべく治療  
を行っています。

今後麻酔科医と会うことになる方  
の多くは、手術を受ける際だと思っ  
ますので(もちろんそうならないに越  
したことはないのですが)、当院の手  
術室での麻酔科医の仕事について、  
(ドラマとは少し違った)手術室の雰  
囲気を紹介しつつ説明させて頂き  
ます。

## 2 手術室の中

一般的な全身麻酔による手術の流れに  
沿って進めていきたいと思いま  
す。まず前室というところでお名前

確認と着替えを済ませ、そこからベッ  
ド、歩ける方は徒歩で実際に手術を  
行う部屋へ移動します。手術室に  
入った患者さんが「ドラマとはだいぶ  
違うね」とおっしゃるのを時々耳にし  
ます。テレビドラマに出てくる手術室  
というのは薄暗くてどこか息苦しさ  
を感じさせることが多いですが、それ  
ではますます緊張してしまいますよ  
ね。実際は、こじんまりとはしていま  
すが、照明は明るいですし窓のある部  
屋もあつて開放的な印象です。外の  
景色が見える手術室というのはめず  
らしくてスタッフも気に入っています。  
また、なるべくリラックスしていただ  
けるよう全部屋有線放送で音楽が流  
れていますので、好きな音楽があつ



たら遠慮なくおっしゃって下さい。

それでも体に心電図や血圧計など  
が着けられ、腕に点滴の注射をされ  
たりと準備が進むにつれ、「いよいよだ  
な」と緊張されるかもしれません。全  
身麻酔が始まる前に体に着ける器械  
は、麻酔中に患者さんの置かれた状  
況を正確に把握するためのモニターで  
あり、点滴はその状況を適切に管理  
するための命綱のようなもので  
す。物々しい準備も全て安全装置だ  
と思つて下さい。その後、酸素マスクを  
軽く口にあてがわれ、点滴から麻酔  
薬(眠る薬)が入つてくると数秒から  
数十秒で意識はなくなつてしま  
います。

この先は全身麻酔を受けたこと  
のある方も知らない部分ですが、実は麻  
酔科医が本領発揮するのはここから  
です。というのも麻酔薬によって眠つて  
しまうと、自分で呼吸をすることがで  
きなくなり、心臓の力が弱くなつたり  
血管が拡がったりして血圧も急に下  
がつてしまいます。麻酔科医はそのよ  
うに薬によって抑えられた生理機能  
をサポートすべくがんばります。安定  
した呼吸を確保するために喉に管を  
入れ(呼吸管理)、昇圧薬や輸液など  
によって血圧を維持します(循環管  
理)。また、手術が始まればその痛み  
の強さに応じて麻酔薬や鎮痛薬を適  
宜投与しながら、なるべくストレスが  
少なくなるよう心がけます(疼痛管